

令和6年度第5回芦別市部活動改革検討協議会 議事概要

1. 期 日 令和6年9月30日（月）18:00～19:40
2. 会 場 芦別市総合福祉センター別館2階 ふれあいホール
3. 参加者 委員：17名出席（4名欠席）
事務局：8名出席
4. 次 第
 - 1 開会
 - 2 辞令交付
 - 3 会長挨拶
 - 4 報告事項
 - ・資料1…令和6年度第4回芦別市部活動改革検討協議会 議事概要
 - ・資料2…部活動の地域移行に係る広域的な取組に当たっての滝川市・新十津川町・芦別市2市1町合同による意見交換結果
 - ・資料3…部活動地域移行の先行実施に向けたソフトテニス連盟と中学校との打合せ結果

【事務局】

報告事項の前に、委員の皆様には報告がある。資料はないが、前回の会議録をホームページに掲載した際、誤って委員の個人名を掲載してしまったことについて、謝罪させていただきたい。今後、このような事態が発生しないよう、ホームページの掲載に当たっては、取扱いを厳重にするとともに、会議録の在り方を「議事概要」的な記録にさせていただきたい。また、新たに委員となった方に、会議録をホームページに掲載することをお知らせしていなかった点も、重ねて謝罪させていただくものである。

【会長】

私の方から教育委員会にお願いだが、公表に当たっては、点検、再点検が重要になることから、複数の目で点検していただきたい。また、委員が入れ替わっているため、伝達事項に漏れがないようお願いしたい。

事務局より資料1に基づき説明

（委員から特に意見なし）

事務局より資料2に基づき説明

（意見等の抜粋）

【意見】

現在、中学校のサッカー一部は、江陵中学校、新十津川中学校、芦別中学校の3チームの合同で活動を行っているが、芦別中学校は、来年以降ほぼ入らないため、芦別中学校は今後、一度合同チームから抜けるような形になる。ただ拠点校方式にすると、また何年か後に入りたい子どもが入ることができる。また、滝川市の明苑中学校と開西中学校にもサッカーをやりたい子がいる。滝川にクラブチームが1チームあり、選手が集まっているが、中にはクラブチームに入りたがらない子どももいると思うので、その子どもが拠点校方式のチームに入ってくれれば良いと思う。要望だが、もう少し範囲を広げて深川・雨竜地域も含めていただきたい。現在、少年団は、芦別・深川・

雨竜の3チームの合同で活動している。人数は、雨竜が一番多く22～23名になっている。中学校は、今の3校の合同で進めていただき、雨竜・深川にも広げていただきたい。

【回答】

要望として受け止めさせていただく。深川市については、担当者とコンタクトを取り、話を進めさせていただく。

事務局より資料3に基づき説明
(委員から特に意見なし)

5 協議事項

- ・資料4…提言書の作成に向けた意見等の整理
- ・資料5…今後のスケジュール

事務局より資料4に基づき説明
(意見等の抜粋)

【意見】

地域移行の最終的なゴールについて、土日・休日の部活動については、本当に学校から切り離すのか、教員と地域の方と一緒にやっていくのか、について、方向性を示していただきたい。もう1点、資料の中で、資料の1、①、ア「中学教諭が部活動を進んで行っていないことや～」の部分について、公式文書として載るのであれば表現をもう少し柔らかくしていただきたい。

【回答】

学校から部活動を切り離すかどうかについて、提言書をいただいた中で、教育委員会として考え方を決定していきたい。表現の記載の仕方として適切でない箇所について、見直しを行いたい。今後も表現についてご提案いただければ、記載内容を修正させていただきたい。

【会長】

皆様からいただいたご意見を提言書に記載していき、その提言書に基づいて、教育委員会で方向性等を提示していく流れになる。ここで決定ということではないので、忌憚のないご意見を集約していきたい。

【質問】

罫線の枠で囲った部分は、意見についてまとめたものか。また、枠の下に「意見についても、別途提言書の中に記載～」とあるが、この文書の他に、新たに文書が出てくるということか。それともこの文書に足していくのか。

【回答】

罫線で示している部分については、皆様からの意見を集約したものとして、提言書に載せる案である。いただいた意見を大切にしていきたいので、提言は罫線の中のものとなるが、できるだけ多くの意見を記載していきたい。

【質問】

2ページの持続可能な取組について、罫線で囲っている内容を見ると、カとキについてまとめられているものだと思うが、アからキまでを見ると、7つの意見の内、アからオの5つは中学校との連携についてである。持続可能な取組について、地域と先生方の考え方に差がある中で、どちらが持続可能な取組になるのかという話もあった。そういった趣旨の文言が少し少ないと感じる。具体的な内容を載せないというのであれば、4ページのアからオの意見の中には具体的な種目名の記載はないが、罫線の中には野球やサッカーといった具体的な名前が出てきている。それらのことを踏まえ、考え方をまとめ、提言書にはどのような形で記載していくと考えているのか。

【回答】

2 ページの意見はアからキの7つあるが、提言書に記載させていただく罫線の中の内容はカとキについてで、アからオの部分について触れられていない点、4 ページの罫線の中の内容では、アからオの意見の中で記載のない野球とサッカーの記載がある点についてだが、意見によっては両論併記的なものもあるかと思う。意見をいただきながら、提言書に意見として盛り込むべきところは盛り込んでいく等、提言書に記載する内容を追加したり変更したりしていきたいので、忌憚のないご意見をいただきたい。

【質問】

提言書の形として、罫線の枠の内容が提言書に記載されるという説明があつが、我々が検討協議会で出したその他の意見についても、すべて記載されるということか。

【回答】

罫線の枠の中の記事が提言内容であるが、その他の意見についても、貴重なご意見なので、載せる場所についてはレイアウト等検討が必要であるが、提言書の中に記載させていただきたい。

【意見】

それは違うと思う。ある程度出た意見を集約したものが提言書になると思う。両論併記という話もあつたが、両論併記が提言になるのか疑問である。我々から出ている意見を全て載せるのは違うと思う。趣旨をくみ取っていただいて、記載していただきたい。留萌市の先進地視察の提言書では、そのようになっていなかった。貴重な意見というのもわかるが、あまり意見を載せすぎると提言されても困ると思う。多少の精査は必要だと思う。

【回答】

いただいたご意見については、選択肢の一つだと思う。委員の皆様からも提言の在り方について率直にご意見をいただきたい。

【会長】

罫線に囲われた部分が、提言書のベースになると捉えていただきたい。それ以外の意見等で記載した方がいいというものも載せていくということによろしいか。

【意見】

ソフトテニスとは団体種目ではなく、どちらかという個人種目になるので、「団体種目」という記載を「団体・個人種目」といった形で入れていただきたい。

【回答】

そのように盛り込むことについて、考えさせていただきたい。

【会長】

1 番目の「目的・方向性」については、資料の1 ページの下段の内容と資料2 ページの下段の内容を、検討協議会からの提言として、提言書に記載させていただきたい。

次に2 番目の「推進期間」について、意見や追加で記載すべき事項等ございましたら発言をお願いしたい。

【質問】

地域クラブのイメージが湧いていない。小学校のような「クラブ活動」のように考えてよいか。目的が、子ども達がスポーツや文化に親しむことができる環境づくりとなっており、今までの会議やアンケートからクライミングやラグビー、e スポーツなど新たな種目が出てきている。すそ野を広げ色々な活動ができる「クラブ活動」として、大人から子供まで色々な世代に渡って経験できる地域クラブを作るといったイメージがある。団体競技の話だが、団体競技は人数がそろわないと試合ができないので、地域連携や拠点校方式に移行していくという話があつた。そうになると、地域クラブの趣旨と逆行するのではないか。試合ではなく、野球ならキャッチボール、サッカーならドリブル等を楽しむことを目的とする子どもにとっては、地域ク

ラブで環境を作ってあげたらよいと思う。そういう意味で、小学校のクラブ活動というイメージをもっている。「地域クラブ」が小学校のクラブ活動で、「部活動」が本格的に優勝を目指す活動なのかと思う。また、部活動の中でも、地元でできる部活動と外に出ていく拠点校方式という分け方になると思う。引っかかっていたのは、地域クラブで団体競技はできないというのではなく、最大限色々な種目ができるという認識で良いか。

【回答】

2点お話をいただいた。1点目の地域クラブが小学校のクラブ活動のようなものということについては、検討協議会では中学校の部活動の種目を中心に考えている。中学校の部活動にないものについては、ラグビーやマルチスポーツについて話が出たこともあり、今後検討していくべき課題だと思う。地域クラブについては、中学生のみならず市民全員を対象とするような地域クラブの在り方について、最初にお話しさせていただいた。具体的には次回の検討協議会の実施体制に関わってくるかと思う。委員の皆様から色々なご意見をいただきたい。2点目の団体種目について、野球で言えばキャッチボール、サッカーで言えばドリブル等、地域クラブでできることはないかということだったかと思う。このことについては、関係団体との話し合いの中で、活動が可能か検討する。

【質問】

次回の会議の中で、地域クラブについて詰められていくということによいか。例えば誰を会長、副会長にするなど具体的な話になっていくということか。

【回答】

あくまで提言をいただくための話し合いのため、具体的に誰を会長、副会長にするかということについては、もう少し先の話になってくるかと思う。

【意見】

今の件に関わるが、1目的・方向性について、「地域クラブ」という文言が出てきますが、その定義づけをきちんとしていく必要があると思う。地域クラブとはどのようなものなのかということ膨らませていくとよい。また、ここで議論しているのが、中学校における部活動の地域移行を進める、という文言がポイントになると思うので、ここに記載された文章だとわかりにくい部分があるので付け加えていくとよい。さらに、休日、小学校から大人、高齢者までのスポーツ・文化に親しむ機会については、継続して検討していくというのが入ってくるとよい。それを踏まえて、②持続可能な取組や、2推進期間につなげていくとより分かりやすくなると思う。また、「～していただきたい」という文言でそろえるとよい。

【回答】

地域クラブとは何なのかということについて、次回お示ししていきたいと思う。統一感のある文言についても検討させていただく。

【会長】

次に4ページの②、「地域に移行できない部活動について」の内容について、意見や追加で記載すべき事項等ございましたら発言をお願いしたい。

【意見】

今のことにも関わるが、サッカーは滝川市の江陵中学校を拠点校とするという内容があるが、地域クラブを作ったときに、学校に部活動を残すのか残さなのか、というイメージが統一されておらず、「拠点校」となると学校に部活動を残すという感じがする。滝川市教委においても要綱を作成するということがあったが、滝川市でも地域クラブを作るのかどうなのかもわからないので、そのあたりの整理が必要かと思う。拠点校方式という表記がいいのかどうなのかという疑問もある。

【回答】

拠点校方式について、学校に部活動として残るというイメージがあるということだが、一般的に拠点校方式を採用すると仮に学校に部活動が存在しなかったとしても、拠点校の部活動に参加することができるということになる。滝川市・新十津川

町との拠点校方式について要綱を作るということについては、まだ部活動を学校に残すかどうかについての話が進んでいないので、今後の協議の中で進めていきたい。

【質問】

拠点校方式の場合は、地域クラブは関わらないということか。

【回答】

拠点校方式となった際の地域クラブの関わりについて、今一度事務局で検討させていただきたい。

【質問】

言葉の定義だが、地域移行できない部活動というのは、野球やサッカーなど子どもの数が少なくチームを作れないということだと思う。中学校の部活動で今回地域移行のまな板に上がらなかったのは卓球部で、指導者がいないので地域に移行できないという理由だった。子どもの数が集まらないということなのか、その押さえについてはどうなるのか。

【回答】

卓球に関しては、市内において、指導者の確保が難しいということであった。引き続き、指導者の確保に向けた話をしていきたい。

【意見】

卓球の話について、勤労者体育館で卓球をしている人たちがいるので、一緒に練習することは可能ではないかと思う。指導できる・できないではなく、一緒にできる場を提供できれば、持続可能な取組になるのではないかと思う。そういった人たちに声をかけて、一緒にできないか確認することが地域クラブとして取り組むことではないのか。

【回答】

勤労者体育センターやなまこ山で卓球をされているところまでは事務局でも承知している。今お話いただいた点は、貴重なご提言だと思うので、卓球の関係者と話を進めていただきたい。

【会長】

できるだけそういう子どもたちがいるのであれば、地域クラブの定義はこの後になるが、できるだけ子どもの視点に立って活動の場を保障してあげることは非常に大切だと思う。

今卓球の話があったが、個人競技でいうとバドミントンはどうか。小さな学校でバドミントンがかなり盛んに行われている地域がある。芦別市の状況がわからないので、わかる方がいれば教えていただきたい。

【回答】

芦別スポーツ協会の中にはバドミントンの団体がある。なまこ山などで一定の活動も行われていると聞いている。アンケート調査からもバドミントンをやってみたくてという回答もあった。ただ現時点で中学校にある部活動を中心に各団体とお話させていただいているので、バドミントンにつきましては、動向を見ながら進めさせていただきたい。

【意見】

文言の問題だが、主語は地域に移行できない部活動だと思う。「地域に移行できない部活動については、子ども達が活動できるように対応していただきたい。」という趣旨かと思う。地域への移行ができない例として、単独でチームが維持できないということと、指導者が確保できないという場合がある。対応というのは、広域的な取組の観点や拠点校方式という具体的な対応だと思うので、ここの部分がねじれているように思う。この部分を整理すると皆さんが言ったようなすっきりとした形になるかと思う。

【回答】

わかりづらくなっている点の文書整理については、一定の整理をした上で、次回お示ししたい。貴重な意見として受け止めさせていただく。

【意見】

私が参加させていただいた趣旨として、自分が指導者になったときにどういったことができるのか、ということを確認したかったということがある。部活動に外部指導者としてどうゆうふうに関われるのか、何ができるのかということである。当初は、部活動を地域に移行するために、教育委員会が地域クラブを立ち上げる、という流れの中で、その地域クラブに人材が集まって、部活動に協力するという組織が良いのかと思っていた。また、人材派遣という形で、拠点校に行けない日などに社会人が子どもたちと一緒にスポーツをすることができるような集まりかとも思っていた。先ほどから指導者がいないという話があるが、専門的な指導者になれる人は本市にどれくらいいるのか、スポーツ全体を通して何かできるのかというところで、体を動かせる人たちがどれくらい集まって、子ども達のために何ができるのかというような話でいくのかなと思っていた。今、組織として何かやらなければならないという問題もあるが、10年後20年後の子ども達のために、という文言もあったが、実際10年後、今年出生した子どもが10歳になるときに何人いるのか、ということをも市がどれだけ考えて計画を考えていくのか、持続可能なものにするためには、高齢者を含めた地域クラブがみんな何ができるのかということをお話し合っていくと思っていた。中学校の部活動については、子ども達がどう考えているかによって先生の意見も変わってくるのかと思う。子ども達のために何ができるのかということと、学校の部活動存続のために何ができるのかということの組織づくりを先にしていくことがよい。そこにスキーマの資格しか持っていないが他のスポーツが好きだという人が人材派遣として登録して、できるときに子ども達のケアをする、そこに部活動があるという流れがスムーズではないか。地域移行で全て地域クラブの人達が部活動を指導することが本当にできるのか。教育委員会と学校の先生の間で、芦別の中学校の部活動は、教育委員会がこういう組織を持っており、経験したことのない先生でも指導できる、だから顧問を引き受けていただきたい、という形でもよいと思う。毎年、学校の先生たちに頭を下げて部活動をお願いしなければならないという状況だが、受け入れやすさをスムーズにするためにも、芦別の部活動は教育委員会が実施主体の組織があり、学校の先生と地域クラブの人が携わりをもった中で、安心して中学校の先生方にも参加していただく、地域に関わる人間としてはそこに何かしらの協力をする形が円満だと思う。

【回答】

地域の指導者についての意見や地域で様々なスポーツ活動をされている方々を巻き込んで子どもから大人までがどのように関わっていけるかという視点について、提言書に盛り込んでいけるよう提案したい。

【会長】

指導者の確保や育成については非常に大事なことだと思う。次回の実施体制で、改めて委員の皆様からご意見をいただきたい。

それでは、2番の「推進期間」については、資料の3ページの下段の内容と資料4ページの下段の内容を検討協議会からの提言として、提言書に記載させていただきたいと思うが、よろしいか。

【質問】

今の話の流れでは、3ページと4ページについては、今一度考えた方がよいのではないか。地域クラブの定義について考えていく必要がある中で、記載されている文言ありきで考えていくと、苦しくなるのではないか。それから、4ページの部分も今の話だと考え直した方がよい。

【回答】

案としてお示しした部分について、委員の皆様からご意見をいただいたので、内容を精査した上で、次回以降お示しをしていきたい。

事務局より資料5に基づき説明
(委員から特に意見なし)

【会長】

当初の計画より2か月ほど遅らせるということであった。

- 6 事務連絡
事務局より次回の検討協議会開催日程について説明
- 7 その他
特になし
- 8 閉会